

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 11 月 25 日 (2021.11.25)

【公表番号】特表 2021-500399 (P2021-500399A)

【公表日】令和 3 年 1 月 7 日 (2021.1.7)

【年通号数】公開・登録公報 2021-001

【出願番号】特願 2020-542533 (P2020-542533)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/7105 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/713 (2006.01)

A 6 1 K 9/00 (2006.01)

A 6 1 K 47/32 (2006.01)

A 6 1 K 47/36 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

A 6 1 Q 19/08 (2006.01)

A 6 1 K 8/60 (2006.01)

C 1 2 N 15/113 (2010.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/7105

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 17/00

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 31/713

A 6 1 K 9/00

A 6 1 K 47/32

A 6 1 K 47/36

A 6 1 Q 19/00

A 6 1 Q 19/08

A 6 1 K 8/60

C 1 2 N 15/113 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 10 月 15 日 (2021.10.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

皮膚へのレーザー照射を含む医療皮膚処置後に、皮膚の若返りを促進するか、皮膚の健康回復を増進するか、または皮膚の回復率を増加させるための薬剤を製造するための、ヒト F i d g e t i n 様 2 をコードする D N A または R N A に対する s i R N A または s h R N A の使用。

【請求項 2】

皮膚へのレーザー照射を含む医療皮膚処置後に、皮膚の若返りを促進するか、皮膚の健

康回復を増進するか、または皮膚の回復率を増加させるための組成物であって、

ヒト F i d g e t i n 様 2 をコードする DNA または RNA に対する s i R N A または s h R N A を含む組成物。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の s i R N A または s h R N A の使用、または請求項 2 に記載の組成物であって、

前記薬剤または前記組成物は、前記皮膚中のコラーゲン I の密度または組織を増加させることで皮膚の若返りまたは皮膚の健康回復を促進する、s i R N A または s h R N A の使用、または組成物。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の s i R N A または s h R N A の使用、または請求項 2 に記載の組成物であって、

前記薬剤または前記組成物は、前記皮膚中のコラーゲン I の組織を増加させることで、または皮膚の真皮表皮接合部と平行なコラーゲン繊維の線形配向度を改善することで、皮膚の若返りを促進する、s i R N A または s h R N A の使用、または組成物。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の s i R N A または s h R N A の使用、または請求項 2 に記載の組成物であって、

前記回復率の増加が、炎症度合いの低減および / または炎症低減率の増加である、s i R N A または s h R N A の使用、または組成物。

【請求項 6】

請求項 1 または請求項 3 ~ 5 のいずれかに記載の s i R N A または s h R N A の使用、または請求項 2 ~ 5 のいずれかに記載の組成物であって、

前記レーザー照射に用いるレーザーが、ノン・アブレイティブレーザーまたはブレイティブレーザーである、s i R N A または s h R N A の使用、または組成物。

【請求項 7】

請求項 1 または請求項 3 ~ 6 のいずれかに記載の s i R N A または s h R N A の使用、または請求項 2 ~ 6 のいずれかに記載の組成物であって、

前記ヒト F i d g e t i n 様 2 が、配列番号 2 に記載のアミノ酸からなる、s i R N A または s h R N A の使用、または組成物。

【請求項 8】

請求項 1 または請求項 3 ~ 7 のいずれかに記載の s i R N A または s h R N A の使用、または請求項 2 ~ 7 のいずれかに記載の組成物であって、

前記ヒト F i d g e t i n 様 2 をコードする DNA または RNA に対する前記 s i R N A が、少なくとも 1 つの 2' - 糖修飾を有する、s i R N A または s h R N A の使用、または組成物。

【請求項 9】

請求項 1 または請求項 3 ~ 8 のいずれかに記載の s i R N A または s h R N A の使用、または請求項 2 ~ 8 のいずれかに記載の組成物であって、

前記 s i R N A が、配列番号 3、4、5、6、7、8、9 または 10 に記載の配列からなる、s i R N A または s h R N A の使用、または組成物。

【請求項 10】

請求項 1 または請求項 3 ~ 9 のいずれかに記載の s i R N A または s h R N A の使用であって、

前記医療皮膚処置は美容処置であり、

前記美容処置は、レーザースキンリサーフェシングまたはレーザーアブレーションである、s i R N A または s h R N A の使用。

【請求項 11】

請求項 1 または請求項 3 ~ 10 のいずれかに記載の s i R N A または s h R N A の使用であって、

前記医療皮膚処置は美容処置であり、

前記美容処置の目的が、皺、美容整形後の無反応皮膚、老化または日焼けによって損傷した皮膚、肝斑、母斑、いば、肥大した油腺、ポートワイン母斑、血管腫、および毛細血管拡張を目立たなくすること、あるいは肌の顔色を変化させることである、s i R N Aまたはs h R N Aの使用。

【請求項 1 2】

請求項 1 1 に記載の s i R N A または s h R N A の使用であって、

前記母斑が、線状表皮母斑である、s i R N A または s h R N A の使用。

【請求項 1 3】

請求項 1 または請求項 3 ~ 1 2 のいずれかに記載の s i R N A または s h R N A の使用、または請求項 2 ~ 9 のいずれかに記載の組成物であって、

前記レーザーが、C O₂ レーザー、エルビウムレーザー、長パルスまたはQスイッチを有する 1 0 6 4 n m の N d : Y A G レーザー、1 3 2 0 n m の N d : Y A G レーザー、または 5 9 5 n m の P D L レーザーである、s i R N A または s h R N A の使用、または組成物。

【請求項 1 4】

(i) 皮膚へのレーザー照射を含む皮膚処置による、ヒトの皮膚上に目に見えて現れている皺を減少させるか、または皮膚の回復速度を増加させるのに有効な量の、ヒト F i d g e t i n 様 2 をコードする D N A に対する s i R N A または s h R N A を含有し、かつ

(i i) マイクロニードルアレイに収容される、組成物であって、任意選択で、前記 s i R N A が、配列番号 3、4、5、6、7、8、9 または 1 0 に記載の配列からなる、組成物。

【請求項 1 5】

請求項 1 4 に記載の組成物であって、

前記マイクロニードルアレイが、デキストラン、ヒアルロン酸、および P V P のうちの 1 つまたは複数からなる構造を含む、組成物。